

大竹中学校だより



〒739-0614 広島県大竹市白石一丁目 8-1
☎(0827)52-5177 Fax(0827)52-5178
【HP】members.fch.ne.jp/otakejhs/

-いのち輝く学校-
令和4年12月8日(木)



第31号
大竹市立大竹中学校
校長 十亀 琢磨

☆☆「大竹中学校だより」カラー版は、大竹中学校ホームページでご覧いただけます。☆☆



寒さに負けず・・・花いっぱい運動



はやいもので、今年もあと3週間となりました。12月になって一気に寒さが厳しくなった気がしますね。朝は10℃を下回っていることもあり、朝起きるのがつらい時期です。しかし、寒い中、元気に登校してくる生徒のみなさんを見ると、元気になります。そして、この寒い時期に、元気を与えてくれるのが、プランターに植えてある花です。この花は、11月30日に行われた「花いっぱい運動」で植えたものです。寒い中、たくさんの方が参加してくれ、みんなで協力して植えることができました。部活単位の参加でしたが、3年生にも参加してくれた人がいました。年に2回行っているこの活動、ずっと参加し続けているという人もいます。そういう人は、どういう手順でやったらよいか分かっているようで、手際よくやっている姿も見られました。土をまぜる、土を入れる、苗を植える、プランターを運ぶ…などの役割を部活ごとに分担して、それぞれの役割をきちんと果たしてくれたおかげで、予定よりも早く作業が完了しました。この時期に植えた苗は、寒い冬を乗り越えて、3月の卒業式の頃には、きれいな花を咲かせます。そして卒業式、体育館で3年生の新しい門出を演出してくれるのです。あれから約一週間。小さかった花も、少しずつ大きくなり、葉っぱも根をはって広がってきました。小さな花も寒い中、精一杯成長しようがんばっているんだなと思います。寒いから元気が出ないなという人は、是非一度、一日一回、プランターの花を眺めてみてください。きっと元気が出ると思います。

寒いこの時期、何かをしようとするのが億劫な気持ちになることでしょう。部活動、掃除、勉強…つい、手を抜きたくなるかもしれませんが、ここで本当に怠けてしまうか、気持ちを取り直して真面目にやるか…その違いは今ではわからなくても、春になったら顕著に現れます。寒さに負けそうな自分に打ち勝ち、花と一緒に、厳しい冬を乗り越えてほしいと思います。

参加者いっぱいでした



力仕事も精いっぱいやりました



花が咲くためには、土がいっぱい必要なのです…。



「ちゃんと育てね」という思いをいっぱいこめました



進んで掃除をしている姿に胸いっぱいでした



見えない所で誰かが...



さて、たくさんの人の協力により、花の苗を植えることができました。16時30分から始めて、16時50分にはすべての作業が終了していました。どうしてこれが可能だったのでしょうか。「そんなに時間がかかる作業ではなかった」…そんなことはないというのは写真を見てもわかりますね。では「人がたくさんいた」「みんなで協力してやった」「役割分担をして、それぞれの役割をきちんと果たした」…確かにそれもあると思います。でも、果たしてそれだけでしょうか。参加した人は、始まる前の状況を思い出してみてください。土や石、プランター、必要な道具が用意されていましたね。要は、すぐに作業が始められるようにしてあったわけです。実は、この準備をしてくれたのは、オアシスA組の田中くん、藤村くん、八木先生、多賀谷先生です。今までも、このように参加した生徒がすぐに作業にとりかかれるように、誰かが準備をしてくれていたのです。大竹中の生徒のみなさんには、作業をする前に「誰かが用意してくれていたんだな」という気持ちを持てる人であってほしいと思います。苗を植えるとなんだかよいことをしたような気になりますが、花はそれだけで育つものではありません。美化委員の人が朝や放課後、水をやってくれています。それと用務員の方が、いつもちゃんと育てているかを気にかけてくださり、水をやったり手入れをしたりしてくださっているのです。さらに、花が枯れた後のプランターもきれいにして、すぐに新しい土が入られるようにしてくださっているのをみなさんは知っていましたか？

こうやって考えると、私たちは気がつかないけれど、実はたくさんの人に、見えない所でお世話になっています。自分のことしか考えられない人は、そのようなことに気付かないでしょう。しかし、花を一つ見るにしても、「誰かが手をかけてくださっているんだな」ということを意識してみると、花も違って見え、花いっぱい運動に参加する時の思いも違ってくると思います。学校生活には色々な役割があり、その役割を果たすことはとても大切なことです。また、誰がやるか決まっていなかったり、無理にやらなくてもよいこともあるかもしれません。しかし、誰かがやってくれるからよいだろうと思い、誰かにやってもらっていることにすら気付かない人が増えていくと、どうでしょうか。大竹中学校がもっとよりよい学校になるためにも自分のことだけでなく、周囲に思いを馳せていきたいものです。

…そんなことを考えながら、参加したみんなが作業をするのを見ていたら、進んで後片付けや掃除をしている生徒がいて、寒かったですが、あたたかい気持ちでいっぱいになりました。

サッカーボールを寄贈していただきました

先日、明治安田生命保険相互会社より、サッカーボールの寄贈がありました。これは子どもの健全育成に資する地域・社会貢献活動の一環として、ここ数年、毎年サッカーボールを2個お持ちいただいています。今年度も寄贈していただき、校長室で寄贈式を行い、サッカー部の代表2名が受け取り、「ボールを使ってしっかり練習し、大会で優勝できるように頑張ります。」とお礼の言葉を述べました。

このような、生徒のみなさんの活動を支援していただけるのは本当にありがたいなと思います。サッカー部のみなさん、寒さに負けず、ボールを使ってしっかり練習に励んでくださいね。

今は、下校時間が17:15なので、放課後の練習時間は少ないですが、「どうせ、あとちょっとだから…」とさぼってしまうことはないですか？「ちょっとの時間でもできることをやろう！」という考えにシフトして、練習方法を工夫することも大切です。花と同じように、冬の厳しさを乗り越えて、春にその成果が発揮されるよう頑張ってください。

